

2020.11.10

## 阪南市シニアクラブ様の木台

### 手作り繋がりマスク寄贈

新型コロナウィルスが猛威をふるい、活発だったシニアクラブの活動も3月半ばには全面ストップ、いつ再開出来るか不安な状況が長く続きました。

マスクが品薄な社会状況の時に、地域の若い方から生地を提供しますのでシニアクラブで「手作りマスク」を作りませんかと提案がありました。

当初は社会情勢とシニアクラブ活動休止の中で、集まっての作業は不安があり、この話は保留にしました。

5月末に緊急事態宣言が解除され、自粛要請や行動規制が緩和されましたが、今までと違って「コロナと共生する新しい環境下での活動」ということで、会員の安全を確保することからシニアクラブの活動は6月まで全て休止としました。

クラブ活動を休止している間、役員会では「コロナ禍の今の時期に何ができるのか」を議論していました。

7月からは活動も緩やかに再開されるようになり、女子役員全員でマスク作りに挑戦することを決めました。内容は9月より住民センターでソーシャルディスタンスを守りながら、各自無理をしないでを基本に月4回一日2時間の作業で進める事でした。

そして10月20日に105枚のマスクが完成、みんなで万歳しました。

このマスクは、社会奉仕活動の一つとして「ふれあいぞうきん」と一緒に校区内の小・中学校、幼稚園、認定こども園に寄贈させていただきます。

はじめはそれぞれが日ごろ慣れない手作業で不安だらけでしたが、皆でマスクをつけての作業ですが、ワイワイガヤガヤとしゃべったり笑ったりと楽しい作業時間でした。

生地を提供してくださった方、マスク作りを手伝いに来てくださった方、応援してくださった男性役員方、そして私達女子役員の頑張りが校区の中に繋がっていくと思うと嬉しくなり、皆で作り上げた事が良かったと話し合っています。